

島原藩主深溝松平家墓所

幸田町初

国史跡指定へ

幸田町史跡 深溝松平家墓所は、平成26年3月18日、国史跡 島原藩主深溝松平家墓所として、日本国として護るべき文化財に指定されました。幸田町では初めての国指定史跡であり、愛知県でも江戸時代の大名家墓所としては初めての指定となります。今回は、指定になるまでの過程をトピックでご紹介します。

なお、史跡の概要については、今回全戸配布させていただいた「島原藩主深溝松平家墓所・深溝松平家と瑞雲山本光寺」をご覧ください。

深溝松平文化財の調査

平成21年から24年までの4年間、幸田町、長崎県島原市、東京都など、各地に残る深溝松平文化財の調査を行ってきました。その成果をまとめた報告書が「瑞雲山本光寺文化財調査総合報告」まうだいらだて「松平忠雄墓所発掘調査報告」まうだいらだてです。文化財の専門家による調査成果の報告により、幸田の歴史に厚みが増しました。

◀◀ 調査の様子



◀ 復元されたヨーロッパ製祝婚杯 青色ガラス杯



調査成果の報告事業

平成21年12月には文化振興展「深溝本光寺は墳墓の地なり」、平成23年11月には文化振興展「菩提寺と廟守」を開催し、文化財調査の中間報告を行いました。また平成25年3月には文化庁主任調査官佐藤正知氏さとうまさちかによる講演、平成26年3月15日には愛知教育大学のしんきゅうのりか新行紀一名誉教授による講演会を開催しました。



深溝松平家文化財調査記念講演会

平成26年3月15日に開催された愛知教育大学の「新行紀一名誉教授」による講演会では、98人におよぶ町内外の歴史ファンが、島原藩2代藩主松平忠雄まつだいらただおの側室「春」についての講義を興味深く聴講していました。午後からは本光寺・島原藩主深溝松平家墓所において「女性」に関する史跡の現地説明、「1509」と描かれたヨーロッパ製祝婚杯、青色ガラス杯の復元作品のお披露目を行いました。



長崎県島原市との歴史・文化交流

島原市は深溝松平家が江戸時代藩主として赴任していた土地になります。その縁から、平成25年9月には島原市古川市長が深溝松平家のルーツの調査のため幸田町を訪れました。また平成26年3月18日に、幸田町教育委員会の小野伸之のののぶゆき教育長が島原市を訪問し、島原市古川市長、宮原教育長と固く握手を交わし、今後の歴史・文化交流について話し合われました。



深溝松平家20代当主 松平忠貞まつだいらただただ氏との会談

平成25年11月25日に松平忠貞氏（故人）へ国史跡指定の答申の報告をしたところ、非常に喜ばれ、幸田町の教育に活用してほしいと語られていました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



問合せ 生涯学習課生涯学習G（内線195）